

私は無数の人々の声になる。



A FILM BY ALEXANDRIA BOMBACH  
ON HER  
SHOULDERS

# ナディアの誓い

2018年ノーベル平和賞 国連親善大使 ナディア・ムラドの決意と行動



監督：アレクサンドリア・ボンバハ 配給：ユナイテッドビープル 95分/ドキュメンタリー/2018年/アメリカ



RYOT-FILMS

OSCILLSCOPE



# 県大 SDGs シネマ



#07 – May 2019

## ナディアの誓い

– On Her Shoulders

日時： 5月21日 (火)  
🕒 18:15 ▶ 20:30

📍 お問い合わせ先  
TEL: 0749-28-9851  
FAX: 0749-28-0220  
地域共生センター (谷口)

場所： 滋賀県立大学  
湖風会館 談話室 (A7棟内)  
(内側の地図をご参照ください)

参加費： 無料 《一般の方もご参加いただけます》



2030年に向けて  
世界が抱える  
「持続可能な開発目標」です

## ■ 上映作品の紹介

### 『ナディアの誓い – On Her Shoulders』

ノーベル平和賞2018の受賞者で23歳のナディア・ムラドは2014年8月までイラク北部の小さく静かな村、コチョ村で母と兄弟姉妹達と幸せに暮らしていた。しかし、ISIS（イスラム国）がやって来て、少数民族ヤジディ教徒の虐殺が始まる。殺されるだけではない。捕まった少女や女性は戦利品として売買や交換の対象となった。ナディア達も捕らえられ、母親と6人の兄弟は殺されてしまう。彼女は性奴隷として3ヶ月扱われた末、脱出に成功し、ドイツに逃れる。そしてナディアは2015年12月の国際連合安全保障理事会で、ISISの虐殺や性暴力についての証言を行い、ヤジディ教徒の希望の存在となる。少し前までは、どこにでもいるような普通の女の子だったナディアの夢は、自分の村で美容室を開くことだった。普通の生活に戻る日を待ち望みながらも、故郷を奪い、家族も殺したISISの虐殺を止め、まだ捕らえられている同胞や、世界中の性暴力被害者のため、彼女は表舞台に立ち続けることを決意する。そして彼女は痛ましい体験を、苦しみながらも繰り返しジャーナリスト、政治家、そして外交官に訴え続けた。カメラは冷静に数々の困難に辛抱強く立ち向かっていくナディアに密着し、ギリシャの難民キャンプや国連本部でのスピーチまでを追っていく。そして、彼女の揺るぎない決意を浮き彫りにしていく。

監督: アレクサンドリア・ボンバッハ  
プロデューサー: ヘイリー・パパス、ブロック・ウィリアムス  
製作総指揮: プリン・ムーザー、マット・イッポリト、マリー・テレーズ・ギルジス、  
アダム・バーダック、アリソン・グレイマン  
共同製作者: エリザベス・シェイファー・ブラウン  
作曲: パトリック・ジョンソン  
編集: アレクサンドリア・ボンバッハ  
追加編集: マイケル・フカソ クリエイティブ・コンサルタント: デイヴィッド・ウィルソン  
編集コンサルタント: ダグラス・ブラッシュ A.C.E.  
撮影監督: アレクサンドリア・ボンバッハ  
追加撮影監督: カリー・マクソン、サム・クレッチマー  
出演: ナディア・ムラド、ムラド・イスマエル、アマル・クルーニー 他  
配給: ユナイテッドピープル  
原題: On Her Shoulders 95分/ドキュメンタリー/2018年/アメリカ

(ユナイテッドピープル 映画紹介資料より)

## ■ 県大 SDGs シネマ について

滋賀県立大学では持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた活動を行っています。SDGsに取り組もうとするときに、何から手をつけるべきでしょうか？私たちは、まず現在の社会にある課題を知り、多様な視座からその課題を捉えることが大切だと考えました。そこで様々な社会課題に触れ、周りの人たちと感想や意見を共有する機会をつくるため、1-2カ月に一度、県大キャンパス内で映画の上映会を開催することにしました。上映後には参加者同士で映画の感想や意見交換をする時間も取りたいと思います。皆さんがこの上映会で社会課題に対して新たな問題意識を発見し、次の一歩を踏み出すきっかけになれば幸いです。

## ■ 上映場所のご案内

湖風会館(A7棟) (下図★)

🚗 お車でお越しの方  
北駐車場をご利用ください。

🚌 バスをご利用の方  
(行き)  
南彦根駅西口 17:50発 →  
県立大学 18:07着  
(帰り)  
県立大学 20:40発 →  
南彦根駅西口 20:57着

